

# 「かわはく」での教育・普及活動

青木 勝美

私たち環境担当4名は、寄居町にある埼玉県立川の博物館に駐在して業務を行っています。今回は、その業務内容のうち、教育・普及活動について紹介します。

## I 出張授業等の実施

要請のあった学校には、出張授業を行っています。分野は、自然や環境についてだけではなく、学校の授業（教育課程）に合わせて実施をしています。子どもたちの自然や環境、科学に対する興味・関心を高められるよう、支援に力を入れています。



学校の理科室で行った川の水質調査

また、公民館などの生涯学習施設からも、講演会や学習会の依頼があります。内容に共通の話題などを盛り込んで、わかりやすく実施をしています。生涯学習の一端を担えるように取り組んでいます。

## II 「かわはくまつり」への参加

川の博物館主催の「かわはくまつり」にも積極的に参加をしています。7月31日に行われた「かわはく夏まつり」では、自然の博物館コーナーとして、企画展「多様な埼玉の生きもの～虫・むしワールド～」の紹介や水生生物の観察、ヨーヨーのプレゼントなどを行いました。雨天にもかかわらず、当コーナーには559名もの方にお越しいただきました。

11月14日には「かわはく秋まつり」が開催されます。自然の博物館コーナーでは、『葉書

の木（タラヨウ）に文字や絵を描こう』などを実施します。皆様のご来館をお待ちしております。



自然の博物館コーナーのようす

## III 電子顕微鏡操作研修会での支援

川の博物館には、走査型電子顕微鏡があります。電子顕微鏡の積極的な活用をめざして、年3回、県内の学校職員を対象に操作研修会を行います。環境担当職員は、その講師を務めています。

参加者は、真剣に実習に取り組み、撮影した電子顕微鏡写真を授業で活用するなど、とても意欲的です。各回5人が定員と少ないので、抽選になってしまうことが残念です。



研修会のようす

これからも、「身近な博物館」して、地域に根付いた活動に取り組んでいきます。

(あおき かつみ・担当課長)